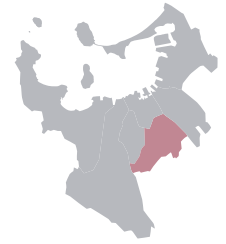




南区のまちづくりの方向性



油山・鴻巣山などの豊かな緑や那珂川・野多目大池などの水辺に恵まれるなか、昭和30年代以降の土地区画整理事業などの面的整備や大規模団地などの建設により、住宅地を中心とした成熟した市街地が形成されています。また、大橋や高宮の周辺には、交通結節機能や公共公益施設、文教施設、商業・業務施設などが集積しています。

南区では、平成外環通りなどの道路ネットワークを生かして、人やコミュニティの日常の活動を支えるとともに、水辺や緑とふれあい、みんながつながり支え合う、安全で安心して住み続けられるまちづくりをめざします。

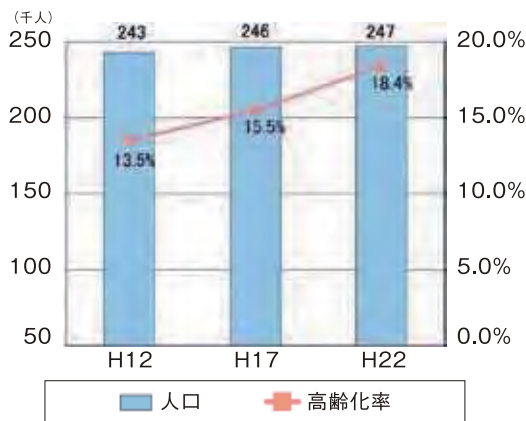


▲平成外環通り



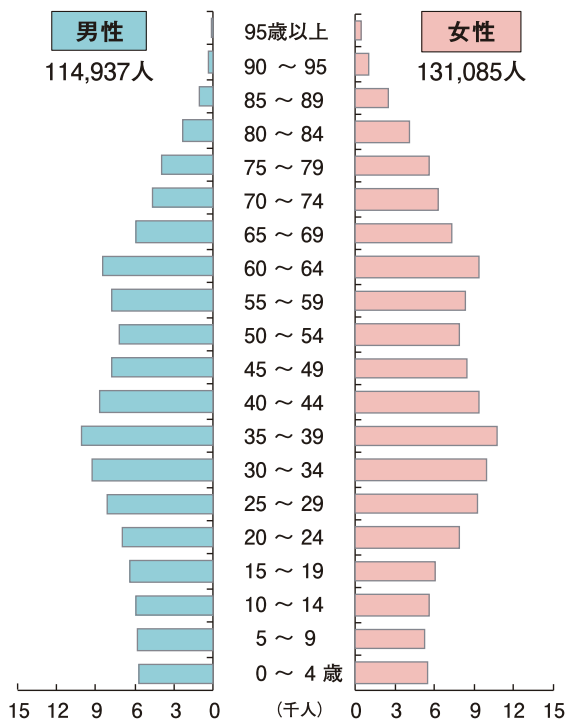
▲野多目大池

■南区 人口と高齢化率の推移(国勢調査)



	平成12年	平成17年	平成22年
人口	243,039	246,367	247,096
増減率	1.8%	1.4%	0.3%
15歳未満	35,937	34,007	33,528
割合	14.8%	13.8%	13.6%
15～64歳	174,163	173,480	167,308
割合	71.7%	70.4%	68.0%
65歳以上	32,830	38,204	45,186
割合	13.5%	15.5%	18.4%

■中央区 5歳階級別人口



資料：平成22年国勢調査（注）年齢不詳を除く

《まちづくりの方向性》

交流

- 大橋駅から高宮駅の周辺には、日赤通り・高宮通りの沿道を中心に、区役所や市民センター、男女共同参画推進センターアミカス、九州中央病院などの公共公益施設や文教施設、商業・サービス施設、業務施設など多様な機能が集積し、交通結節機能の高さを生かした広範な生活圏域の中心となる福岡市南部の拠点づくりを進めます。

活力

- 長住・花畑では、日常生活に必要な商業機能やサービス機能などの諸機能の集積や平成外環通りを生かして、区西南部地域の拠点づくりを進めます。

活用

- 都市計画道路の整備推進により、福岡市南部の道路ネットワークの強化を図るとともに、平成外環通りを生かした公共交通ネットワークの強化を図ります。

快適

- 住宅を主とした地区では、日常生活を支える公共交通の利便性を高め、安全で快適に生活できる住宅地づくりを進めます。また、低層住宅地では、多様な住宅ニーズへの対応を図りながら、緑豊かで良好な居住環境の保全を図ります。

環境

- 貴重な歴史文化財や、那珂川や樋井川、野多目大池、老司大池などの貴重な水辺空間を活用し、歴史や自然を体感できる空間づくりを進めます。

安全

- 油山や鴻巣山などでは、豊かな自然を保全するとともに市民が自然とふれあい憩えるレクリエーション空間づくりを進めます。

- 警固断層周辺では、大規模地震発生時における被害を最小限に抑えるため、中高層建築物の耐震強化を促進します。災害時などの安全を確保するため、那珂川や樋井川などでは浸水対策を進めるとともに、狭あい道路の多い地区などでは道路環境の改善を図り、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。


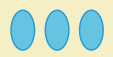
南区の将来像とまちづくりの視点

全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの視点などについて、以下のとおりに整理します。

● 拠点など

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点	
南部広域拠点 (大橋) 	大橋駅から高宮駅の周辺に、広域的な交通機能、多様な商業・業務施設、公共施設などが集積し、活発な交流が行われる南部地域の核となるまち	広域拠点核  <ul style="list-style-type: none"> ○南部広域拠点としてふさわしい機能(商業・業務機能、文化機能など)の誘導と連続性のある街並みの形成 ○交通結節機能の強化 ○建物景観の誘導や緑化などによる魅力ある都市景観の形成 ○安全で快適に歩ける歩行空間の確保 ○鉄道駅と周辺施設などへのアクセス機能の強化 	
		広域拠点連携ゾーン  <ul style="list-style-type: none"> ○主要な施設間をネットワークする歩行空間の充実 ○公共・公益・文教施設立地の特性を生かした街並みの形成 	
地域拠点 	日常の買い物に便利な商業機能の集積や平成外環通りを生かした区の西南部地域の拠点となるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活対応の商業・業務サービス機能の充実・強化 ○交通結節機能の強化 ○地域拠点にふさわしい景観の誘導 	
生活商業地 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活に対応した商業・サービス機能の強化 ○安全に歩ける歩行空間の形成 ○鉄道高架化による道路や地域の分断解消(井尻) 	
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路などの整備状況に応じた土地利用の誘導 ○沿道の有効利用 ○連続性のある良好な街並みの形成 ○後背地などの周辺環境への配慮 ○交通ネットワークの形成 	
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地		

●環境資源などを保全・活用するエリア

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの視点
森の緑活用空間 	山や森林に囲まれ、市民や来街者が自然とふれあえるレクリエーションと憩いの場	○油山や鴻巣山の豊かな自然の活用
河川緑地軸・  ため池	那珂川やため池など、地域の散策・憩いの場となるとともに、緑と広がりのある景観が連続したゆとりと潤いのある水辺空間	○安全で快適な都市基盤の整備 ○河川沿いの緑化などの美しい都市景観の形成 ○親水性の向上

●土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア

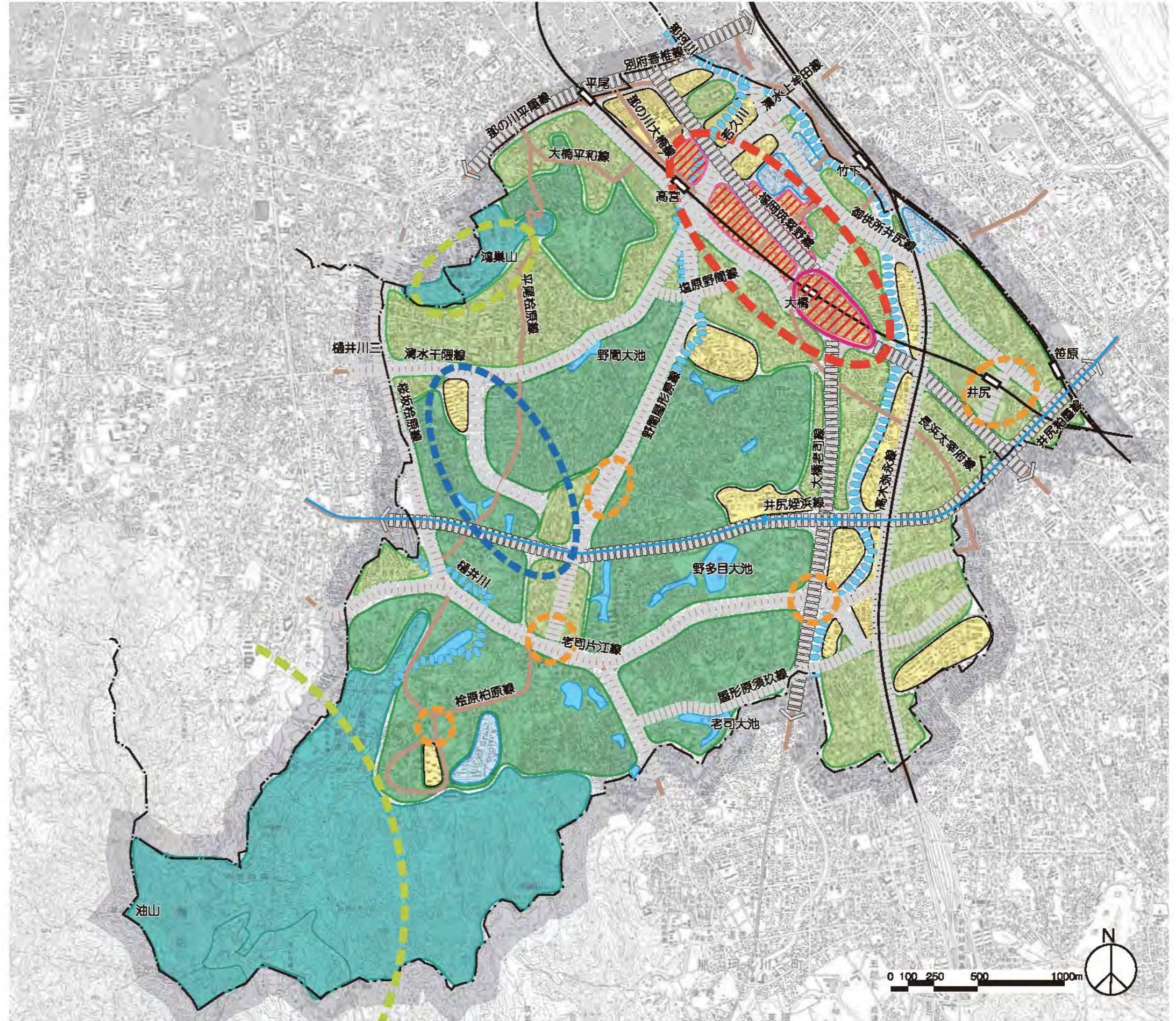
ゾーン	現況	まちづくりの視点
複合市街地ゾーン 	住宅を中心に拠点機能を支援する業務施設・商業施設が共存する複合市街地	○歩行空間の確保 ○狭あい道路の改善 ○老朽木造集中地区での延焼防止 ○低層住宅地の環境保全 ○職住が調和した複合市街地づくりと良好な街並みの形成
中高層住宅ゾーン 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅で形成される住宅地	○中高層住宅地としての良好な住環境の保全・形成 ○緑化の推進 ○大規模団地などの老朽化に対する適切な対応
低中層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	○低中層住宅地としての良好な住環境の保全・形成 ○緑化の推進 ○低層住宅と中層住宅の調和 ○狭あい道路の改善
低層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅を主とする住宅地	○低層住宅地としての良好な住環境の保全・形成 ○緑化の推進 ○老朽化した戸建住宅などの課題への対応 ○狭あい道路の改善
山地・丘陵地 	山林などの豊かな自然資源を保全した魅力ある油山や鴻巣山の森林空間	○緑地の保全・育成 ○無秩序な開発の抑制
住工共存ゾーン 	工場や倉庫、事業所などの工業系の施設と住宅が立地するまち	○狭あい道路の改善 ○住宅の多い地区での良好な市街地環境の保全・形成 ○敷地内緑化などによる緩衝機能の強化

南区の将来像図

※この将来像図は、全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて分類した拠点・ゾーン・軸を示した図面です。

[凡例]

- 拠点等 ●
- 南部広域拠点
- 広域拠点核
- 広域拠点連携ゾーン
- 地域拠点
- 生活商業地
- ▬ 都市軸
- ▬ 沿道軸
- 環境資源等を保全・活用するエリア ●
- 森の緑活用空間
- 河川緑地軸
- 土地利用等の現況から市街地を類型化したエリア ●
- 複合市街地ゾーン
- 中高層住宅ゾーン
- 低中層住宅ゾーン
- 低層住宅ゾーン
- 住工共存ゾーン
- 山地・丘陵地
- ▬ 都市計画道路等
- ▬ 自動車専用道路
- ▬ 鉄道
- ▬ 農用地区域
- ▬ 区界



南区《現況・課題》

- 南区は、油山や那珂川及び多くのため池などの自然に恵まれ、九州大学(大橋キャンパス)を始め、大学、短大、高校などが多い文教地区となっています。また、緑豊かで閑静な戸建住宅地や大規模団地などが南区全域に広がっています。現在、高宮駅の南側に位置する若久団地では建替え事業が進められるとともに、区南部の弥永団地で建替え計画が進められています。
- 大橋駅から高宮駅の周辺は、区役所や市民センター、九州中央病院などの公共公益施設や、商業・サービス施設、業務施設など多様な機能が集積し、福岡市の南部広域拠点として発展しています。また、区の西南部や那珂川町方面からのバスの乗り継ぎも多く、各種交通機関の結節点となっています。
- 南区には、古墳時代後期の横穴式の寺塚穴観音古墳や、5世紀初頭頃の福岡平野の首長の墓と推測される老司古墳や老司瓦窯跡といった歴史を偲ばせる文化財が多く残っています。また、貴重な歴史文化財と那珂川や樋井川、野多目大池、老司大池などの水辺空間を活用し、周辺環境整備が進められています。
- 区北部の那珂川沿いでは、職住近接の都市型住宅地と良好な水辺の憩いの空間が創出され、周辺との回遊性を高めています。
- 市民の日常生活を支える商店街は、大橋や高宮、長住、老司、井尻などで形成されています。
- 主要な道路は、都心から都市圏南部へ至る福岡筑紫野線(日赤通り)と長浜太宰府線(高宮通り)、那珂川町方面へ至る大橋老司線(みやけ通り)や野間屋形原線、東西に走る清水干原線(大池通り)や井尻姪浜線(平成外環通り)などが走っています。
- 都市高速5号線の整備が完了し、都市高速2号線と西九州自動車道をつなぐ南回りの交通ネットワークが形成されています。
- 野間屋形原線周辺や大橋老司線周辺の丘陵地などに広がる住宅地には、幅員4m未満の狭い道路が多い地区がみられます。特に、花畑、日佐、三宅などは、築30年以上の木造建築も多く立地しているため、災害時の安全性などの面で課題となっています。
- 区の西部・南部地域では、高齢化が顕著となっており、主要な公共交通機関であるバスの利便性の向上が求められています。あわせて、人や車の円滑な通行のために、道路や交差点の機能向上が必要となっています。

【凡例】

- | | |
|----------------------|---|
| — 都市計画道路等(整備済・構成) | ■ 地区計画区域等 |
| - - 都市計画道路等(未整備・整備中) | ■ 土地区画整理事業施行地区 |
| — 自動車専用道路 | ■ 狭い道路分布地区(4m未満の道路が多い地区) |
| ● 街区公園 | ■ 築30年以上の木造建築物が多い地区(築30年以上の木造建築物が50%以上) |
| ■ 主な都市公園 | ■ 農用地区域 |
| ■ 主な緑地 | ● 市民農園 |
| ● 特別緑地保全地区、緑地保全林地区 | ■ 標高80m以上 |
| ● 自転車駐車場(公営) | ■ 河川・ため池 |
| ■ 農地の多い区域(市街化区域内) | ■ 鉄道 |
| ■ 商店街 | ■ 市街化区域および市街化調整区域界 |
| ▲ 大規模な店舗(1000㎡以上) | - - 区界 |
| ● 小学校 | |
| — 小学校区界 | |
| ▼ その他の教育施設(中、高、大) | |
| ● 公共文化施設 | |
| ◆ 文化財・寺社 | |

